



新型コロナウイルスの感染状況が少し落ち着いて来た頃を見計らって、3年動き出せなかった少し遠出のお出掛け、ご家族様にご理解いただき実施いたしました。

会いたい人に自由に会えない・自由に出掛ける事も出来ない・ずっと制限がある生活が続いています。そんな中でキャッチ出来た『ささやかな願い♡』。いつも迷った時に立ち止まって考えてきたその方の『普通に暮らす幸せ』。その事を考えた時に、非日常の中で楽しい！嬉しい！幸せ！を感じて頂く事はやっぱり大切な事だなあと改めて考えました。ささやかな願い・想いをキャッチ出来たのなら、どうにかして叶えたい！一緒に楽しむ！そして一緒に喜びを感じて共有したい！そこからまた次の『こうしたい！』が生まれ次に繋いでいく事が出来ます。そんな事を考えるとワクワクします。

5月に実施した【大洗で蟹を食べる！】は、想像以上の楽しい時間となりました。お出掛けは、いつもの整った環境から外へ出る事なのでどうしても不安になる事が多々あります。でも今回の『大好きな蟹が食べたい！』という強い願いは、不安な気持ちを払拭し食べに行けるワクワク感が勝っていてお年寄りの表情がとっても生き生きとされていました。本当に出掛ける事が出来て良かったです！！

感染者は再び増加し、また制限が必要な状況になりつつあります。状況を見極め、タイミングを逃さずに実行し、ささやかな願いを叶える事が出来て良かったなあとと思います。



6月8日。なでしこ荘から美味しそうな、あま〜い香りがしていました。食べるイベントの1つ、パン祭りです。約2年ぶりの開催です。久々に職員の手作り料理と一緒に楽しみました。コロナ禍。感染対策で中止せざるを得ないことも沢山ありますが、できるタイミングを逃さず、楽しみ作りをしていきたいと思ひます。

熱中症対策 ～ 水分ゼリー ～

高齢者の水分摂取の目安

体重×30ml

例) 50kg×30ml=1500ml

体重が軽い方でも脱水予防には

最低1300ml必要です。

玉樹の1日の食事で摂れる

水分は約700mlなので

最低600mlの水分補給が必要。



ゼリーは食感が違うものを2種類。味は9種類から日替わりで提供。

高齢者は加齢により腎機能が低下し、老廃物を出すのにより多くの水分を必要とするため体から水分が失われやすくなります。さらに脳機能の低下により喉の乾きも感じにくく脱水の危険が増します。

しかし、飲み物だけでは量が飲めなかったり、トイレが近くなることを気にされて控える方もいます。そのため、玉樹では熱中症対策として水分ゼリーを提供することで、「デザート感覚で美味しく水分補給」できるよう取り組んでいます。味も種類を変えて毎日飽きずに食べられる工夫をしています。カリウムも含まれているゼリーなので熱中症の予防効果も期待できます。また、飲み物も積極的に飲んでいただくため、好みの物が選べるよう複数種類を準備しています。

ご利用者のカンファレンスでは、毎回水分摂取量の確認をし、看護師、栄養士、ケアワーカーなど各専門職が連携して対策を話し合っており、脱水が原因での入院がなくなりました。

ご家庭でも水分補給などの困りごとがありましたら、お気軽にご相談いただければと思います。

つむぎ
プロジェクト
玉樹 × 地域福祉

社会貢献クラブ ～ 入居後も社会とつながる喜び ～



社会貢献クラブの活動の一環として、未使用・書き損じはがきと切手を民際センターへ発送するため、ご利用者と一緒に郵便局へ。荷物を局員さんにお渡しすると、社会貢献クラブメンバーのトミさんは感極まり泣いてしまい、それを見てクラブの会長を努めているリョウさんも「よかったね。頑張った甲斐があったね」とおっしゃって、努力が報われたことを二人とも喜んでいました。



「お1でつむぎの教育支援」
ダルニー奨学金

送った資材はダルニー奨学金事業としてベトナムの中学生の学費に充てられます。今回送付分は1年分の学費となり、昨年11月にも1年分の支援をさせていただいているので、これまで多くの方々から協力いただき集結した力がベトナムの2名の中学生の支援という大きな形になりました。

皆様のご協力のおかげでご利用者が入居後も社会とつながり、人の役に立つ活動に関わることができました。本当にありがとうございます。今後ともご協力をいただき活動を見守っていただけましたらうれしいです。

つむぎ
プロジェクト
玉樹 × 地域福祉

気まぐれカフェ ～バリスタボランティア初挑戦～



コーヒーの淹れ方講座から誕生した「バリスタボランティア」は現在6名。その方々と一緒に気まぐれカフェを開いてみました。初めての挑戦に向けて話し合いの場を設け、もう一度コーヒーの淹れ方のおさらいをしたり、テーブルの配置を考えたり、「花を一凛置くといいよ!」「だれかボランティアでピアノ演奏とかできないかな?」などアイデアを出し合いました。

そして迎えた当日、コーヒーの淹れ方講座の講師“もっくん珈琲”の川村さんにもお越しいただき、おかげさまでスムーズに進めることができました。また、ピアノやハーモニカの演奏、あじさい学園の手作りクッキーの販売もお土産にと好評でした。

地域の方も自由に利用できるカフェにしたかったのですが、今回は残念ながら感染対策のためご利用者限定での開催となりました。今後は、バリスタボランティアさんと話し合いながら、『地域の方と施設が繋がるカフェ』を定期的で開催していきたいと思っていますのでご期待ください!



ささやかな

願いを叶えたい!!



日常の中で小さな喜びや願いが叶う事で、心が満たされ元気になり小さな自信が生まれます。その自信が次の『こうしたい!』に繋がっていくと思います。一人ひとりのささやかな願いをどうすれば叶えられるのかを一緒に考え一緒に喜べる姿勢で在り続けたいです。

フォトスタジオで家族写真



職員がお化粧をお手伝い♪
衣装に着替えて出発!



お孫さんを目の前に
満面の笑み♪



2022.5月、お孫さんの結婚式の前撮りのため外出。
久しぶりにご家族に囲まれ、笑顔満開です♪
次の目標は、半年後の結婚式への参加です。
家族と過ごす特別な日、とても大切な時間となりました。



初めての外出

コロナ禍真っ只中の昨年4月に入职した新人さん。感染対策で経験できずにいた外出サポートを初体験!

焼肉デート

大好きな職員さんと焼肉店へ! メニューを見ながら「何頼みますか?」と伺うと「お肉は1番高いやつじゃなきゃダメよ!」とトミさん。奮発してお店で1番高いコースを注文!!



思い出がある
お店で久々の外食

笑顔がたくさん
見られて嬉しかった♪
また一緒にお出掛け
したいです!



これが食べた
かったんだよ

お刺身定食



1番高いやつ
じゃなきゃダメよ!





できる！を継続するために

ご利用者の方とお話していると「体が思うように動かなくてダメなんだ」「あれもこれも出来なくなっちゃって…」という声も多く聞かれます。身体機能の低下は、加齢や疾病など様々ですが、今出来ることを「維持」していくために、日常生活動作に繋がる運動やマッサージなどを行っています。

「歩くこと」ができる



ご利用者の身体状況に合わせて、歩く距離を設定し歩行練習しています。また「歩けなくならないように」と自主的に運動している方もおられ、ショートステイがある2階フロアを、途中にあるソファで休息しながら、3～5週歩いています。



「トイレで排泄」ができる



排泄はプライバシーに関わる部分です。介助してもらうことに抵抗もあり「やってもらうのが悪いなあ」と思う方もいますので、自分でできることは精神的負担の軽減にもなります。排泄時に必要な筋力を維持するため、手すりに掴まりながら立つ・座る動作を繰り返します。腹圧がかかりやすい前かがみの姿勢も保つことにも繋がり、便秘解消効果もあります。



「自分で食べること」ができる

食事の動作に必要な腕や手首、指の運動を行っています。筋肉や関節は、動かす機会が少なくなると硬くなり、動かす時に痛みを伴うこともあります。そこで、入浴して温まり筋肉が柔らかい状態の時に、両手のグーパー運動や腕の上げ下げ運動、手首回し、マッサージなどを行っています。



ご自身で行えることを「維持」していけるようサポートし、「できる！」という自信を持てることで、前向きな気持ちで元気に過ごしていただきたい。

そして、その方らしい生活を続けていけるよう関わらせていただきたいと思ひます。



日課から習慣へ

デイサービスでは、転倒予防や下肢筋力を維持するために、運動や歩行練習を行っています。

例えば、平行棒を使い、その場で足踏み・スクワット・腕立て伏せ・立位の保持などを実施しています。また、1階フロアでは歩行練習、天気の良い日にはお散歩がてら外を歩いたりしています。

デイサービスの利用日には日課として運動を取り入れることで、ご自分で回数を決め自主的に行う変化が見られている方もおり、ケアプランにも取り入れ下肢筋力の維持を図っています。

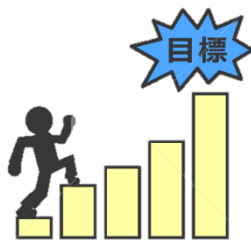


☆ 楽しく続ける工夫 ☆

運動もやらされ感があっては長続きしませんし、苦しくなってしまいます。前向きな気持ちで取り組んでいただけるサポートをすることが大切です。

目標を立てる

ゴールがあるとモチベーションを保ちやすくなります。あるご利用者は、中禅寺湖に旅行することを目標に運動をしています。



誰かと一緒に行く

一人で黙々と運動を継続するのは苦しくなりがちです。共感できる仲間がいると冗談を言って笑い合いながら、楽しく取り組む姿が見られます。



デイサービスで行っている日課の運動が、ご自宅でも継続でききるようになり、習慣になることが目標です。そのために、まずは玉樹で楽しく積極的に運動してもらえるような工夫をして下肢筋力を維持し、在宅での生活を続けていけたらと思っております。



食事はおいしく・楽しく

じゅげむでは、「美味しく・楽しく」食事をしていただけたらと思っています。そのために、大切にしている食事の視点をご紹介します。

見て楽しむ



彩りを意識して食器を選び、盛り付けを工夫して「見た目にも美味しい」食事を意識しています。



無理のない量



その日の体調に合わせて食事量を調整し、白米をお粥に変更したりするのはもちろんですが、残したら悪いな…と気遣い無理してしまう方もいるので、ご飯の量も毎回ご本人に確認しています。

雰囲気を楽しむ



イベント食を企画し、みんなで一緒に食を楽しむ雰囲気作り



パン祭り♪



焼きたての
香りを
楽しむ♪



ご家族との情報共有

食欲低下と脱水のため入院されていたマサさん（仮名）。咀嚼や嚥下機能の低下が見られ、退院後も体調や食事量に波がありました。体力も低下しており、疲れて食事が進まない様子もありました。そこで、まずは体力の回復を優先し、昼食前に横になってしっかり休んでいただく時間を作り、食事でも無理せず介助で対応しました。また、ご自宅でも、栄養補助飲料と果物をミキサーにかけて、スムージーのような形で美味しく飲み込みやすく栄養を補えるようにする等、試行錯誤されていました。数種類の栄養補助飲料など持参して下さっており、マサさんが好きな物を選ぶことで、少しでも多く水分補給できるようじゅげむでもサポートしています。

すると、少しずつ食事量が増えていき、体力の回復も見られ、現在では、ほぼ完食されるようになりました。体重も徐々に増えています。

日々の変化を1番近くで見ているご家族との情報共有はとても大切です。私たちも美味しく食べられる可能性がある食事形態等を試しつつも、ご家族からの情報を参考にして、何を優先すべきか、その時の体調等を総合的に判断して食事をサポートしていきます。

ご自宅、施設での様子をお互いに共有しながら、一人ひとりの現状に合わせた食事を提供していけたらと思っています。そして、見た目や季節感なども工夫し、おいしく楽しく食事ができる雰囲気作りも大切にしていきたいと思っています。



自宅での困りごと ～入浴編～

お風呂のことで悩んでいませんか？介護の入浴サービスを受けたいが、どんなサービスがあるか分からない。そんな方は多いと思います。

通所入浴サービス



デイサービスや通所リハビリテーションに通い、施設スタッフが入浴介助を行います。
※浴槽の設備は施設により異なる(個浴・大浴・チェアー浴・リフト浴・ストレッチャー浴)
軽～重度者まで利用可能です。



訪問介護



介護スタッフが利用者宅の浴槽を使って入浴介助を行います。
介護度が低いご利用者にお勧めです。

訪問入浴



看護師1名、介護スタッフ2名で専用の浴槽を使って入浴介助を行います。
介護度が高いご利用者にお勧めです。

訪問看護



ご自宅で看護師が入浴介助を行います。
心臓や呼吸器に持病がある方、体調管理をしながら入浴する必要のある方にお勧めです。

私たちケアマネジャーは、一人一人の問題に対して一緒に相談しながら、ご本人に合った介護サービスを提供していきたいと考えています。

文：関 保奈美



報告 社会福祉法人 絢会 令和4年度 収支決算書

科目(支出)	本年度予算	科目(収入)	本年度予算
人件費支出	279,026,811	介護保険事業収入	421,256,691
事業費支出	58,730,053	借入金利息補助金収入	700,000
事務費支出	59,673,972	経常経費寄付金収入	197,662
支払利息支出	2,038,033	受取利息配当金収入	798
その他の支出	1,976,007	その他の収入	5,562,628
設備資金借入金元金償還金支出	30,570,000	施設整備等補助金収入	24,189,000
固定資産取得支出	81,753,700	設備資金借入金収入	55,000,000
ファイナンスリース債務の返済支出	4,766,520	長期運営資金借入金収入	30,000,000
長期運営資金借入金元金償還支出	1,400,000	その他の活動による収入	0
当期資金収支差額	16,971,683		
計	536,906,779	計	536,906,779

掲載された写真は、本人様並びに家族様の了承の上で掲載しております。

発行：社会福祉法人絢会 発行責任者：吉川 秀貴

撮影・編集：絢会の仲間たち&佐藤あすか

〒300-3572 茨城県結城郡八千代町菅谷 1021-1

TEL 0296-49-3886 FAX 0296-49-2987

Mail info@tamaki.or.jp

<絢会の事業所一覧>

- ・特別養護老人ホーム 玉樹
- ・ショートステイ 玉樹
- ・デイサービスセンター玉樹
- ・デイサービスセンターじゅげむ
- ・居宅介護支援事業所 玉樹

